

研究協力のお願

昭和大学病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

Mobile plaque を伴う頸動脈狭窄症に対する頸動脈ステント留置術

1. 研究の対象および研究対象期間

2019年1月1日から2024年3月31日までの期間において、昭和大学病院脳神経外科で外科的加療(CEAもしくはCAS)を行った頸部頸動脈狭窄症のうち頸動脈エコー上 mobile plaque を指摘されCASを施行した患者さん

2. 研究目的・方法

頸動脈エコーにおいて mobile plaque (可動性プラーク) が指摘されることがあり、脳梗塞発症のリスクと考えられていますが自然経過は不明です。一般的には頸動脈内膜剥離術(CEA)が施行されてきましたが、治療方法として確立されたものではありません。当院の頸動脈エコーにて mobile plaque を指摘された症例のうち頸動脈ステント留置術(CAS)を施行した例の治療経過・治療方法について検討することで、CASの有用性を検討します。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2024年9月30日まで。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

2019年1月1日から2024年3月31日までの期間において、昭和大学病院脳神経外科で外科的加療(CEAもしくはCAS)を行った頸部頸動脈狭窄症の患者さんの情報(年齢・性別)、検査データ(MRI・CT・頸動脈エコー所見・採血結果・SPECT)を対象とし、そのうち頸動脈エコー所見上で mobile plaque を指摘されCASを施行した患者さんの治療前後の臨床経過・治療前後の検査データ・治療方法(手術記録)を用います。

5. 外部への試料・情報の提供

昭和大学病院単施設で施行した mobile plaque を有する頸動脈狭窄症の患者さんの情報を使用することから、外部への試料・情報の提供には該当いたしません。

本研究で取得した診療情報は研究責任者が個人を識別できる情報を削除し用います。

6 . 研究組織

研究責任者	昭和大学病院脳神経外科	久保 美奈子
研究分担者	昭和大学病院脳神経外科	水谷 徹
	昭和大学病院脳神経外科	松田 芳和
	昭和大学病院脳神経外科	高野 駿
	昭和大学病院脳神経外科	松本 知也

7 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学脳神経外科

氏名：久保美奈子

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8605